

道路7 国道32号の二次改築(徳島県)

No.	資料名	ストック効果に関する記述
徳島129	国土交通省四国地方整備局編「一般国道32号井川インター関連(事後評価)」(平成20年度第3回事業評価監視委員会資料、2009年)、10-23頁	<p>国道32号井川インター関連事業の効果</p> <p>(1)円滑なモビリティの確保 主要渋滞ポイントである三好大橋南詰交差点を中心とした渋滞が解消し、渋滞損失時間は大幅に減少。 井川池田IC入口交差点付近の平日混雑時の旅行速度が19.7km/hから46.5km/hへ約27km/h向上。 三好大橋南詰交差点の渋滞解消により路線バスの定時性が向上。 旧三好町及び旧井川町から阿波池田駅(特急停車駅)への所要時間がそれぞれ15分から12分へ3分短縮。 三好市(旧池田町)から高松空港(第二種空港)までの所要時間が79分から76分へ3分短縮。</p> <p>(2)物流効率化の支援 三好市のはっさくの流通の利便性が向上。</p> <p>(3)国土・地域ネットワークの構築 三好地方生活圏の中心都市(旧池田町)と、脇2次生活圏の中心都市(旧脇町)及び香川西部地方生活圏の中心都市(坂出市)を結ぶ最短経路を構築。 旧井川町、旧三加茂町、旧三好町、旧三野町から三好生活圏中心都市である旧池田町への所要時間がそれぞれ3分短縮。</p> <p>(4)個性ある地域の形成 三好市内に点在する観光地へのアクセスが向上。</p> <p>(5)安全で安心できる暮らしの確保 三次医療施設である徳島県立三好病院に30分以内で到達可能な圏域が拡大。</p> <p>(6)安全な生活環境の確保 現道の死傷事故件数は、井川インター関連供用前5年の平均13件/年に対して、供用後3年は平均10件/年程度と約23%削減。</p> <p>(7)災害への備え 四国中央橋が新たに第1次緊急輸送道路に指定。 緊急輸送ネットワークの信頼性が向上。</p> <p>(8)地球環境の保全 井川インター関連事業による交通の円滑化に伴い、自動車からの二酸化炭素(CO2)排出量が約1%(年間約2,000t)削減され、沿道住民の生活環境が向上。</p>

道路7 国道32号の二次改築(徳島県)

No.	資料名	ストック効果に関する記述
徳島129	国土交通省四国地方整備局編「一般国道32号井川インター関連(事後評価)」(平成20年度第3回事業評価監視委員会資料、2009年)、24-25頁	<p>国道32号井川インター関連事業の効果</p> <p>(9)生活環境の改善・保全 井川インター関連事業による交通の円滑化に伴い、自動車からの二酸化窒素(NO₂)排出量が約57%(年間約22.6t)、浮遊粒子状物質(SPM)排出量が約55%(年間約2.1t)削減され、沿道住民の生活環境が向上。</p> <p>(10)他のプロジェクトとの関係 井川インター関連の整備により、三好大橋南詰交差点を中心とした渋滞が解消し、各方面からの井川池田インターへのアクセスが向上。 東方面(旧井川町)、北方面(旧三好町)からの所要時間がそれぞれ2分、西方面(旧池田町)からの所要時間が1分短縮。</p>